

11月・12月の管理ポイント

冬季の芝生には低温や乾燥によるストレスが掛かっていますが、生育が低下しているため気づかないうちにダメージが蓄積しています。蓄積したダメージを放置すると、春の立ち上がりに影響します。冬越し対策として、乾燥対策や栄養補給を行って行きましょう。



冬季の乾燥対策
液肥とのタンクミックスに

グリーンシナジー

近年は非常に乾燥した冬が続いています。冬の乾燥害は春や夏に比べて目立たないため軽視されがちですが、実際はトップシーズンにドライスポットが発生する最大の原因になっています。また冬の乾燥により、春のコウライの立ち上がりが遅くなることも問題視されています。

グリーンシナジーは様々な資材と相性がよく、タンクミックスしやすい界面活性剤です。肥料、ミネラル、糖、アミノ酸などと混用すれば、水と一緒に根圏の隅々まで行き渡ることで利用効率上がり肥料ムラを防ぎます。経済的な資材なので、散布の度にご使用頂けます。冬季にも定期的な予防散布による乾燥対策を行いましょう。

張芝した箇所の乾燥対策には、スポット処理しやすい粒剤タイプのハイドレーターGがおすすめです。

使用量：1~2ml/m²/月 散布水量：100ml~1ℓ/m² 使用方法：資材の散布時にタンクミックス



自然な色調の着色剤

カラーメイトNEO M・D

カラーメイトNEOは、季節感を重視した自然な色調に仕上がる着色剤です。耐光性の高い顔料の粒子が鮮やかな緑色を演出し、耐水性の高い樹脂が色落ちを軽減します。色調の好みや目的によりM(明るい緑)とD(暗い緑)の2色から選ぶことが出来ます。地温・葉温を上昇させることにより、春季の立ち上がりを促進します。芝の色を美しく引き出すため、冬枯れする前の使用がおすすめです。

使用量：2ml/m² 希釈倍率：50~100倍 散布水量：100~200ml/m²



芝生の耐乾性
耐寒性を高めましょう

プランツコート

新発売

プランツコートで茎葉部をコーティングすることで、冬の乾燥害や霜によるダメージを軽減することが出来ます。着色剤と組み合わせると、葉面温度が上昇し霜が早く溶けます。

散布薬量：1ml/m² 散布水量：100~200ml/m²



冬季のサッチの除去
土壤微生物の健全化

サッチ・マネージャーW

ウィンター

本剤は自然界に存在する微生物の中からサッチ成分に対して優れた分解能力があり、低温期でも活性の高い有用菌を選抜した微生物資材です。低温期のサッチ分解能力が高く、春期の気温が上がる時期までにゆっくりとサッチを分解します。

使用量：グリーン 0.25~0.5g/m² 散布水量0.2~0.5ℓ/m²



貯蔵養分の補給と凍害対策

グリーンメカ

バントグラス生育期の11月は糖類の消費量が多くなります。十分施肥しても日照不足で光合成が十分行われない場合、糖類の生産が追い付かなくなります。足りない消費分を補い、冬の貯蔵分も十分蓄えるために、グリーンメカで糖類やアミノ酸をたっぷり補給しましょう。貯蔵糖類を十分蓄えた芝は耐寒性耐凍性が向上し、来春の立ち上がりも良好になります。

使用量：2~10ml/m² 散布水量：1ℓ/m²



病害予防に

グリーンオキシラン水和剤

グリーンオキシランは有機銅とキャプタンが有効成分の防除剤です。着色剤入りで希釈液が緑色なので、散布した後の葉が黄色くならず、美観を損ないません。幅広い病害に効果があり、年内最後の殺菌剤におすすめです。

使用量：バントグラス_希釈倍率300-500倍 1-2ℓ散布/m² 日本芝_希釈倍率500倍 1-2ℓ散布/m²

芝生管理のマメ知識 第183号 土壌の三相分布のバランス ②



前回では土壌中の空気と水のバランスについてご紹介しました。
 今回は、土壌浸透剤がどのようにバランスを保つのかをご説明します。

○ 三相分布の悪化とその原因

大雨が降ると...

水分
砂

wet

表面張力で引っ張る力が強く、水が多い

界面活性剤

表面張力の低下、余分な水の排出

水のみ
大きい水滴

界面活性剤希釈液
表面張力が低下し、小さな水滴に

余分な水を排出し、空気を確保

乾燥が続くと...

dry

砂表面に有機物が付着し、水をはじいてしまう

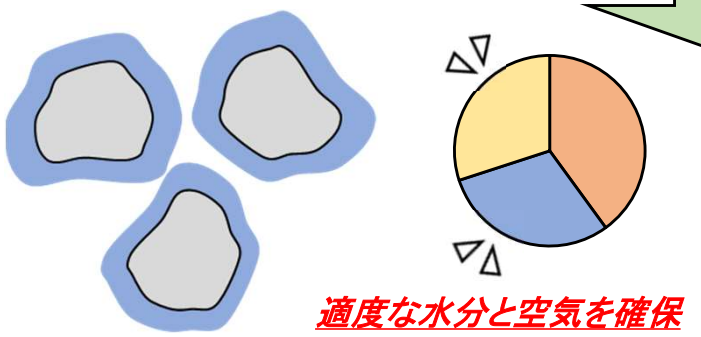
有機物

表面の有機物に界面活性剤が付着し、水を引き付けることができる

新品砂
表面はきれい

ドライスポット発生砂
有機物が付着し、黒くなっている

水を隅々まで行き渡らせ、水分を確保



浸透剤は保水材と混同されがちですが、**土壌の水分を最適に保つ資材**です。
 寒くなると芝の生育は落ちますが、冬でも芝は乾燥ストレスを受けています。
 土壌の乾燥を防ぎ、春の立ち上がりやドライスポットの予防に備えましょう！